

# 草加自民党・無所属の会

新春号



## ご挨拶

新たな年を迎えました。市民の皆様にとって本年も良い年でありますように祈念いたします。同時に、市民生活上、何かお困りの事がありましたら、私たち党派の議員に気軽にお声かけて下さい。

来年度予算は大変厳しいと執行部が頭を抱えています。党派としても**協力できる事、提言していく事、事業の優先順位を見直す等**、今まで以上にしっかりと取り組んでいかなければならないと、七名全員一丸となって新年に誓ったところです。市民の皆さんの御協力・御理解をお願いする案件もあるかもしれませんが、都度、ホームページや会報でお知らせしていきたいと思

います。  
結びに、昨年末から、熱発が多発しています。皆様どうぞご自愛ください。その上で身と心共に健康でありますように

草加自民党・無所属の会

団長 芝野勝利



芝野勝利



小川利八



松井優美子



白石孝雄



田中宣光



矢部正平



木村忠義

QRコードを携帯電話で読み取ると、各議員の市民の皆様へのご挨拶がご覧いただけます。



# 議会報告

## 令和6年12月定例会

賛成・反対が分かれた議案について解説いたします。

### 第88号議案草加市一般会計補正予算（第7号）

#### ☆議案の内容

学校給食調理業務職員不足が見込まれるため、新田中学校及び長栄小学校の調理業務を令和7年度から民間委託へ補正する予算案

#### ☆前提

草加市の小・中学校の給食は自校式で提供されている。調理業務については小学校21校の全てで草加市職員である調理師が調理を行っているが、中学校は、新田中学校を除く、中学校10校の調理師につき、民間委託で人員の確保を行っている。これは、新田中学校については、長栄小学校と同じ敷地内にあり、給食も長栄小の給食室で作って新田中に運ぶ「親子方式」を取り入れているためである。

#### ☆提案の背景

調理師の退職が増加し、新規採用が確保できなかった。  
新田中学校・長栄小学校2校分の調理が必要であり負担が増加してる。  
安定的な給食提供を維持するため、民間委託をやむなく検討。



#### ☆主な議論

##### ○民間委託の妥当性

議員からは「民間委託が恒久化、小学校全体に拡大するのでは」という懸念。  
教育委員会は「非常時対応であり、恒久的な取り組みではない」と説明

##### ○説明責任と合意形成

大幅な方針転換にもかかわらず、議員、保護者、地域の方への説明が不足しているとの指摘。

#### ☆会派としての見解

民間委託の経緯や採用基準の不透明性、説明不足に対する批判があったものの、「給食提供の安定性を確保するための緊急措置」との判断から、執行部へ意見を付して賛成することとした。

小川利八議員が会派を代表して、賛成討論を行いました。

以下、討論の要旨

#### ☆自治体としての責任

委託事業に頼る現状を検証すべきとしつつも、自治体としての責任ある市民サービス提供が必要。

#### ☆議案提出の懸念

今回の議案提出方法に問題があるとし、市長自身も反省と検証を行わねばならない。スピード感は大事だが、草加市に住む市民や将来の市民にとって「住んでよかった」と思える行政運営が何よりも必要であると指摘。

#### ☆まとめ

議案の内容自体には賛成しつつも、その提出方法や運営に関して、市長と教育委員会の改善を強く求めた。また、厳しい社会状況を背景に、草加市の行政運営の在り方を再検討し、より一層市民の期待に応えるべきであると指摘。



小川利八 議員



# 事業総点検

## ☆事業総点検とは

令和7年度の予算編成で30億円の財源不足が見込まれる中、持続可能な財政運営を取り戻すため、法定受託事務等裁量性のない事業を除いた全ての事業を対象に、事業の改善や廃止を含めた検討を外部人材とともに実施する。歳入確保、歳出削減の両面から予算の確保を進め、新たなチャレンジへの足掛かりとする取組。

山川市長が令和6年度の施政方針にて表明。

## ☆事業総点検の対象と結果

対象：一般会計に限定せず、特別会計等も含む。

- 結果：
- 事業拡大：18件
  - 現状維持：403件
  - 要改善：222件
  - 事業廃止・終了：33件



事業総点検の詳細は市HP



## ☆見直しと削減効果

重点対象：「要改善」と評価された222件の事業。

- 削減効果：
- 8月時点：1億5,000万円
  - 10月時点：6億円超

人件費や物価高騰の影響を加味し、次年度予算編成に反映。

## 2025年5月1日から夜間窓口と日曜窓口の開庁日時が変更されます

### 水曜夜間窓口

(現在): 毎週水曜日17時15分～21時00分



(変更後): **廃止**

### 日曜窓口

(現在): 毎週日曜日9時～12時30分



(変更後): 毎月**第2日曜日9時～16時**



窓口受付時間変更の詳細は市HP



## 2025年4月1日より草加市立病院の土曜診療が廃止になります

※救急外来は従来どおり実施

→地域のクリニックからの受け入れ要請も  
これまでどおり救急外来で対応いたします

# (仮称) 柿木・青柳エリアグランドデザインについて

柿木・青柳エリア（柿木町・青柳八丁目の一部：市街化調整区域）は、近年、草加柿木地区産業団地（草加柿木フーズサイト）の整備や東埼玉道路自動車専用部、県道蒲生柿木川戸線の事業化の決定など、国・県・民間による大規模な投資が続くエリアです。

草加市は、このような状況を踏まえ、当該エリアに点在する豊富なポテンシャルを活かす「まちの将来像」とそれを実現させるための「取組の方向性」を示す（仮称）柿木・青柳エリアグランドデザインの作成に取り組んでいます。

なお、作成に当たっては、地域で暮らす皆様の幸せをどのように実現するかを念頭に置き、柿木・青柳エリアらしい由緒ある歴史と文化、自然環境等を未来へつなぐとともに、埼玉県東南部の中心エリアとしての価値を最大化することで、将来のまちづくりに向けて様々な手法による民間投資を呼び込むきっかけとなることを目指しています。



※第1回会議の様子（提供：草加市）

## 令和6年の取組み

令和6年10月までを基礎調査期とし、主に下記点について取り組んできました。

- 当該エリアの土地利用状況の確認をはじめとする現状分析
- 地域の公民館に出張窓口を開設したほか、地域のイベント等での地域ニーズの把握
- 当該エリアに対する民間事業者の投資意欲・性向の確認

※調査結果（市HP）⇒



また、同年11月からはグランドデザイン作成期とし、各分野の専門家、市民等から広く意見を募り、グランドデザインに係るイメージの共有及び意見交換を行う場として、柿木・青柳エリアデザイン会議が発足しました。

## 会派の取組み

会派として、このグランドデザインが、しっかりと未来を見据えた計画に成るよう注視して行くのはもちろん、目まぐるしい社会情勢の昨今ですので、計画が陳腐化しないよう、スピード感をもった開発を要望して参ります。

柿木・青柳エリアデザイン会議は公開制としており、傍聴者の方々にも感想等を述べていただく機会を設けることから、ご興味のある方は市HPをご覧の上、ぜひご来場ください。

※次回(R7.1.29)デザイン会議案内（市HP）⇒

